

67 東京開成学校再入学生増島六一郎他三名給費生採用に付

伺

〔明治九年十二月二十六日〕

〔朱書〕
〔開第三百六十一号〕

〔欄外注記2〕

去ル十一月五日退学申付候増島六三郎外三名今般前非後悔再入
学願出候ニ付増島六三郎城多虎雄ハ本入学千頭清臣福富孝季ハ
仮入学差許候ニ付其旨本日御届申上置候処増島義ハ固ガ貧困ニ
而曾テ給費生ニ有之候事ユヘ到底自費修業難相成者ニ付従前之
通本月廿五日ノ給費生トナシ申度又千頭福富之両名も同様貧生
ニテ元給費生之義ユヘ是亦追テ学業ノ勉励ト行状之端正トヲ驗
シ本入学差許候節ニ至ラハ如旧給費生トナシ申度此段も予メ相
伺置候条右兩件至急御允許有之度候也

明治九年十二月廿三日 東京開成学校長補濱尾 新

文部大輔代理文部大丞 九鬼隆一殿

〔朱書〕
〔伺之通〕

〔朱書〕
〔但校金之内ヨリ支消可致候事〕

〔朱書〕
〔明治九年十二月廿八日〕 印

(欄外注記1)

〔朱書〕「学第 二千九百四十二号」

(欄外注記2)

〔朱書〕「三〇二二」

『文部省往復』明治九年甲、㊦A15